

## 皇室の宝物：三の丸尚蔵館

1993年に開館した三の丸尚蔵館には、何世紀にもわたって皇室が受け継いできた日本で最も貴重な傑作があります。博物館のコレクションは、書道、絵巻物、屏風から彫刻、陶器、刀にまで及びます。昭和天皇(1901-1989)と彼の兄弟姉妹がお使いになられた品もコレクションの一部です。ほとんどの作品は、光や湿気から保護するために限られた時間だけ展示されています。保存と修復は、多くの作品が木、紙、または絹で作られており、非常に壊れやすいため、継続的な課題です。

三の丸尚蔵館には常設展示はありません。むしろ、展示されている作品は頻繁に入れ替わります。それでも、一般に公開されてきたのは尚蔵館のコレクションの半分未満であり、これまでに見たことのない何千もの宝物が順番を待っています。展示内容が全く同じということはなく、訪問者は同じ作品を2回見ることはないかもしれません。

博物館は新たな施設の建設が進められており、2023年に一部開館し、2026年に全館開館を予定しています。新しい尚蔵館は、皇居のスタイルを反映して設計されており、モダンなシンプルさと、ダイヤモンド模様の装飾、緑青の屋根、軒からの雨水を導く装飾的な鎖などの伝統的な建築要素をブレンドしています。